

創業支援金を活用し、青木村でクラフトビールの醸造販売

企業紹介

野ばらファームブルワリー (デザイン会社「brew」)

- 代表者: 中村 圭佑
- 所在地: 小県郡青木村奈良本205-1
- 従業員数: 0名(夫婦で創業)
- 事業内容: 酒類製造業
- 連絡先: <https://6rew.com>

支援を受けて

青木村に移住して直ぐに創業支援金に応募する事になり、相談する人がいない状況で、青木村の地域課題など理解出来ないまま困っていたところ、商工会の支援員さん大変親切にサポートして頂き本当に助かりました。青木村の有力者の皆様とも面識が出来、今後事業を展開する上で大変役立ちました。本当に有難うございました。



中村圭佑・玲子 ご夫妻

支援概要

■企業の現状・課題及び支援の経緯

令和3年6月に東京から青木村に移住し、古民家を購入・改修した社屋でデザイン会社「brew」を夫婦で運営している。主にリモートワークで業務を行っており、大手企業から個人客まで幅広いクライアントに対応した業務を行っている。

移住先で「クラフトビールの醸造販売」に挑戦したいという二人の長年の夢を叶える為、「長野県ソーシャル・ビジネス創業支援金」のセミナーを受講し創業に向け準備を開始した。しかし青木村の課題や地域の問題解決という支援金の趣旨に沿った創業計画がなかなか作れず、移住間もない為に知り合いも少なく、相談できる先もなく難航していた。その後、創業支援金事務局から支援要請が青木村商工会にあり、上席専門経営支援員による支援を実施する事となった。



brewによるデザイン実例



日本一住みたい村を目指す青木村の風景・特産品タチアカネの花

■実施した支援内容

現在運営しているデザイン会社「brew」は正に「抽出・醸造する」を意味し、ご夫婦のこの新規事業への思いが感じて取れた。ヒアリングを進めると、過去に夫婦で「ビール醸造塾」へ通い勉強したり、ニュージーランドなど海外研修や視察を重ねていた事、親が大手ビール会社で長年勤務し多方面から情報を得ていた事などを知り、「ソーシャル性」という部分をうまく探し出して申請書を作れば、採択の確率は高いと判断出来た。

そうした中、青木村では、村が一部上場企業の工場等を誘致するためには、それと同じ面積の新たな耕作農地を確保することを長野県から求められており、工場誘致の課題になっていることが判明した。そこで当社が、耕作放棄地にビール原料の大麦やホップを作りすることで地域課題解決に寄与する事、地域活性化や高齢者の働く場所の確保、併せて事業性に付いても問題なく収益が確保できるという内容の申請書を取りまとめた。

支援の結果及び今後の展開等

本支援を通じて、課題であった「ソーシャル性」を創業計画へうまく落とし込み、申請を行った結果、第一次の書類審査に続き最終面接でも事業主の思いを審査員に十分に理解して頂け、採択率30%前後の狭き門を突破することが出来た。青木村役場の幹部や村会議員、農業委員会、青木村機械作業受託組合、シルバー人材センターなどと早めの接触をサポートしたことによって、地域や自治体を巻き込んで事業を開始できる見通しもついた。

支援を実施して

今後のご発展を祈念すると共に、一日も早く青木村特産のそば品種「タチアカネそば」や特産の「松茸」を利用した「クラフトビール」が醸造・販売され、このプロジェクトに参加したメンバーで、美味しく飲める日が来る事を楽しみにしています。

この度は大変お疲れ様でした。



上席専門経営支援員
宮澤久茂



青木村商工会
北村仁史 主任経営支援員